資金計画

収　入	全国募金	1,300 万円
	日本基督教団援助金（申請予定）	300 万円
	北海教区援助金（申請予定）	200 万円
	苫小牧地区援助金	500 万円
	自己資金	1,700 万円
	合　計	**4,000 万円**

支　出	建築費	3,000 万円
	設計管理費	300 万円
	外構工事費	100 万円
	設備・備品費	100 万円
	諸雑費	500 万円
	合　計	**4,000 万円**

外部募金

外部募金目標額	1,300 万円
送 金 先	郵便振替口座番号　02750-1-19793
加入者名	日本基督教団島松伝道所
募金期間	2014 年 12 月～ 2015 年 11 月

建築の概要

礼拝堂（改築）	北海道恵庭市島松東町 4 丁目 1 番 8 号
牧師館（新築）	北海道恵庭市島松東町 287番 3
	木造一部 2 階建　1 階 68.45㎡　2 階 41.67㎡　合計 110.12㎡
完成予定	2015 年 8 月
設　　計	スタジオ・シンフォニカ〔畠中秀幸〕（札幌市）
施　　工	板垣建設株式会社（小樽市）

賛同してくださる方々

久世 そらち〔北海教区議長・札幌北部教会〕　西岡 昌一郎〔北海教区副議長・旭川六条教会〕
卜部 康之〔北海教区書記・千歳栄光教会〕　日向 恭司〔北海教区幹事〕
小林　茂〔幌泉教会・浦河べてるの家職員・光の園幼稚園園長〕　寺田 悳英〔浦河伝道所・元浦河教会〕
杉岡 ひとみ〔千歳栄光教会〕　中野　円〔千歳栄光教会・千歳第二幼稚園園長〕
石川 宣道〔室蘭知利別教会〕　石川 まなか〔室蘭知利別教会・室蘭めばえ幼稚園園長〕
浅居 正信〔近江兄弟社高校教諭〕　浅野　純〔北星学園女子中学高等学校宗教主任・島松伝道所前任者〕
安部　勉〔ヴォーリズ記念病院チャプレン〕　後宮 敬爾〔霊南坂教会〕　上島 一高〔今治教会〕
桑原 博文〔高鍋教会〕　鈴木　恵〔福岡城東橋教会〕　濱田 裕三〔広島南部教会〕
真砂 良克〔大津教会〕　矢﨑 和彦〔福岡城東橋教会〕　山本 光一〔京葉中部教会〕

日本キリスト教団 島松伝道所
会堂再生・牧師館建築募金のお願い

そのままを互いに認め合う場所をつくる
それが「ひだまり」

会堂再生・牧師館建築（右奥）完成予想図

目標金額　1,300 万円
募金期間　2014 年 12 月～ 2015 年 11 月

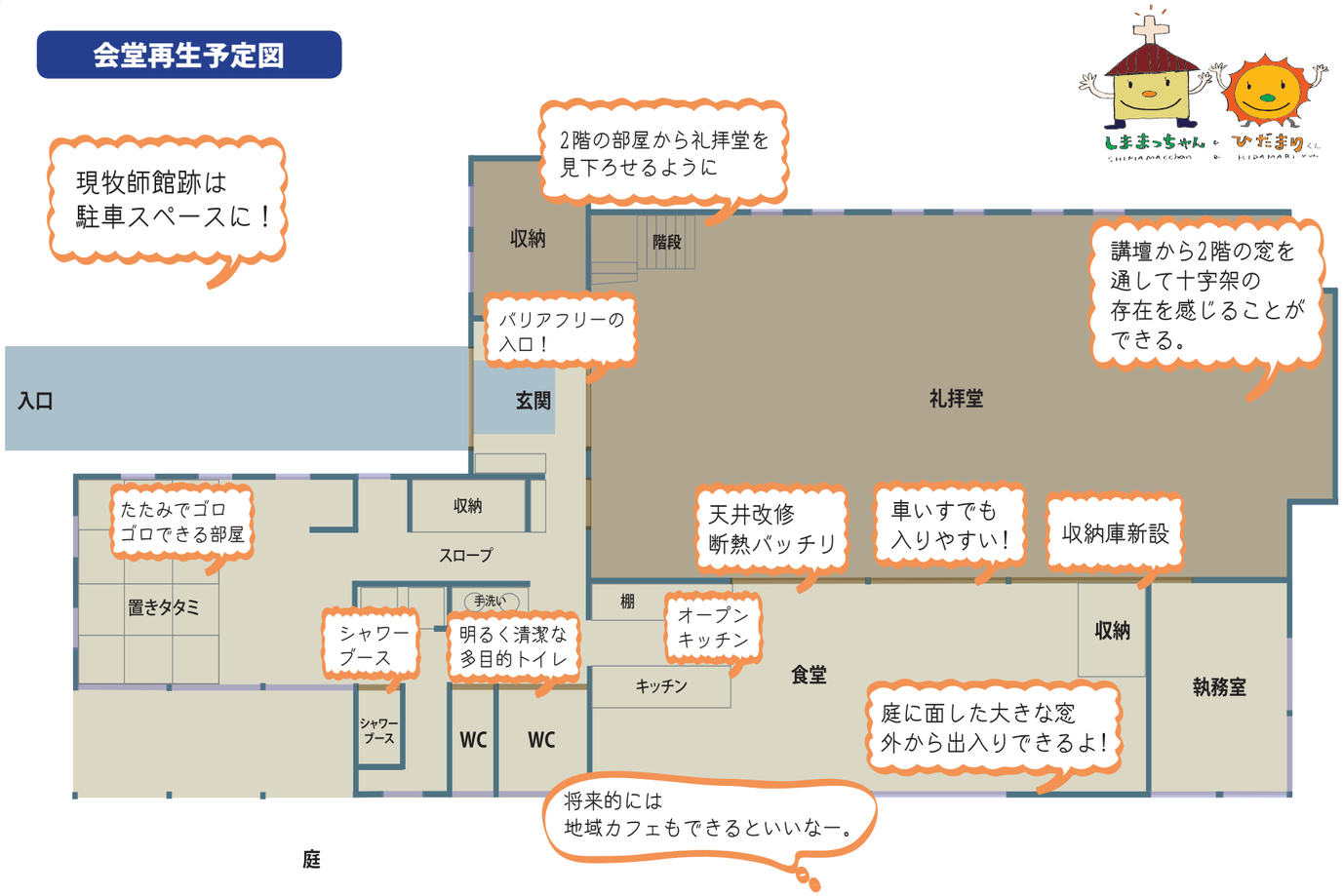
〒061-1351　北海道恵庭市島松東町 4 丁目 1 番 8 号
Tel/Fax 0123-36-7275　http://www.shimamatsu.org/
牧師 辻中 徹也　牧師 辻中 明子
建築委員長　伊藤 周子

日本キリスト教団 島松伝道所　会堂再生・牧師館建築募金のお願い
目標金額　1,300 万円　　募金期間　2014 年 12 月～ 2015 年 11 月

島松伝道所のあゆみ

1954　島松伝道所開設　岸本貞治牧師 (千歳栄光教会兼牧)
茅葺き屋根の礼拝堂
付属ナザレ幼児園開園
1955　青柳剛牧師就任
1960　現会堂献堂
1964　幼児園のため増築
1974　土橋修牧師就任
1980　苫小牧地区共同牧会で現牧師館を建築
1984　ナザレ幼児園閉園
1986　池田隆夫牧師代務者 就任
1987　滝口孝牧師就任
標語「障がい者と共にある教会形成」スタート
島松宣教協力募金開始
1990　滝口孝牧師召天
後宮敬爾牧師代務者就任
1991　浅野純牧師就任
霊南坂教会ワークキャンプ開催
1996　辻中徹也牧師就任　辻中明子牧師就任
2000　浦河伝道所＆浦河べてるの家との共同研究開始
標語「弱さを元手に、けじめなく」スタート
2004　台風 18 号で会堂屋根被災
2005　教会建築献金開始
2006　地元農家の野菜を全国に通信販売する「しままつ野菜だより」開始
2007　「木の教会コンサート」開始
2008　礼拝堂改修〔約 790 万円〕
2009　油絵教室、ゴスペルクワイア活動開始
2011　牧師館建築のために隣接地 100 坪購入〔700 万円〕
2012　標語「弱さを元手に " ひだまり " はじめます」スタート／当事者研究開始
2014　会堂再生・牧師館建築の総会決議可決

会堂再生予定図



牧師館建築予定図

再生・建築への想い

創立 60 周年を 3 月に迎えました。皆さんの祈りと連帯に支えられた道のりに心から感謝いたします。特に「障がい者と共にある教会形成」の実現を掲げ、全国の方々より島松宣教協力募金を通して支えられ感謝です。

病いや障がいを得た者を中心とした教会形成と取り組む中で障がいはその人自身にあるのではなく、人と人との間にあると気づかされています。「強さ」と「秩序」はなくても、弱さという欠落の中にある神の力を確信しているという想いです。『それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです（コリントⅠ 12：22)』のみ言葉に支えられました。

2004 年の台風による会堂屋根被災が、建築に向き合うきっかけとなりました。築 54 年の老朽と寒さを解決して安心できる建物にしたい。2008 年その祈りの一部が叶いました。その結果、ゴスペルクワイア、油絵サークル、当事者研究などの活動が広がりました。そのイメージは、イエスとの出会いによる暖かいひだまり、人間性の回復の時です。標語も「弱さを元手に " ひだまり " はじめます」が新たに生まれました。

築 34 年経た牧師館は、移転新築することによってバリアフリーの駐車場が生まれます。2014 年、会堂の再生の続きと牧師館建築を決定するに至りました。

これからも、地域に向かって " ひだまり " を実現したいと願っています。地方の小規模教会の可能性を覚えていただき会堂再生・牧師館建築募金へのご協力をお願いいたします。